

お知らせ

○8月の臨時活動日；8月の後半、植生調査などのために臨時活動を計画します。具体的日程を調整の上別途ご案内します。

○9月の定例活動日；9月21日（月、敬老の日）9時30分第二駐車場集合、シカ個体数調査、植生調査・食害調査、野鳥調査、ヒメコマツ植栽地管理。

活動の記録

7月19日（月、海の日）晴 参加は安藤、伊藤、鶴沢、小又、坂本（文）、坂本（彌）、福島、真鍋、村野、森、山口の11名プラス体験参加の安藤啓一さん（安藤会員のご子息）。猛暑に喘ぐ関東地方の暑さを忘れ、豊英島の涼しい木陰で水辺清掃、野鳥調査、植生・食害調査、禁断の岬調査などの活動を楽しみました。

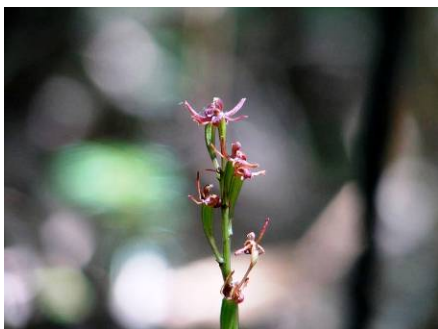


豊英島の涼しい木陰で

○水辺清掃；一年ぶりの水辺清掃は、梅雨明け直後の猛暑日となった。

ホテイ岬とスタジイ林下部の2箇所に分かれて実施したが、例年になくゴミが少なかった。それでも、ゴミ袋に2つ分程度のゴミが集まり、分別の上君津在住の会員などに処理をお願いした。ゴミが少なくなった原因としては、（1）今年は上流のゴミを押し流すような強い雨が降らなかった。（2）釣り人、ハイカー等のマナーが向上してきた。などが考えられるが、このまま少なくなってもらいたいものである。（伊藤記）

○植生・食害調査；坂本（文）、福島、伊藤をリーダーとし3グループに分かれて、植生調査・食害調査を同時に行った。坂本（文）グループは吊橋西側の湖に面する北斜面（シイ・カシ林）を調査した。滅多に足を踏み入れない斜面を這いまわった甲斐あって、会発足以来未確認の多くの種を発見できた。キンポウゲ科コセリバオウレン（千葉県C）ユキノシタ科タマアジサイ、同ヤマアジサイ、同クサアジサイ、キク科モミジガサ、バラ科クサイチゴなど多数。転落しないよう人間たちは斜面歩きに苦労したが、歩きなれたシカには恰好の餌場なのかアオキ、カンスゲ、ノイバラ等の食害が目立つ。カンスゲは殆ど全株が全草食害と新芽成長を何度も繰り返した形跡がある。福島グループは巨木林方面を調査した。イヌガヤ、イヌツゲ、コナラやアカガシ、アラカシの萌芽枝に対する食害が目立った。アオキは、食害によりほとんどの個体が枯死しており、巨木林区域では消滅しつつある。伊藤グループは主にホテイ岬方面を調査した。



コクラン



クロムヨウラン



ツチアケビ

今年はコクランの開花を観察出来た。例年8月上旬開花のクロムヨウランがこの日開花していた。ツチアケビは6月号既報の通り吊橋近くの保護柵内が6月に死滅、ホテイ岬2保護柵内も今回全て死滅、広場脇保護柵内5株中2株のみ辛うじて生き残った。ヤマユリは平坦部では保護柵内を含め完全に消失。（真鍋記）

○禁断の岬調査；昼食後、禁断の岬から北側の湖岸沿いの植物調査を行った。岬先端部に植栽したヒメコマツは、2個体がほとんど枯れた状態であった。植栽地の斜面は乾燥が激しく、畑で育った苗木にとっては、植栽環境がかなり過酷であると思われた。

先端西向き斜面（崖地）では、花が終わったイワタバコとイズノシマダイヤモンドソウが確認できた。

また、岬の北側の湖岸沿いでは、アカショウマと思われるもの、タマアジサイ、クサアジサイが確認できたほか、崖の中腹に咲いた今回唯一のヤマユリの花を見ることができた。（福島記）



健脚組による崖地調査



西向き崖地に開花終えたイワタバコ



北側湖岸にクサアジサイ



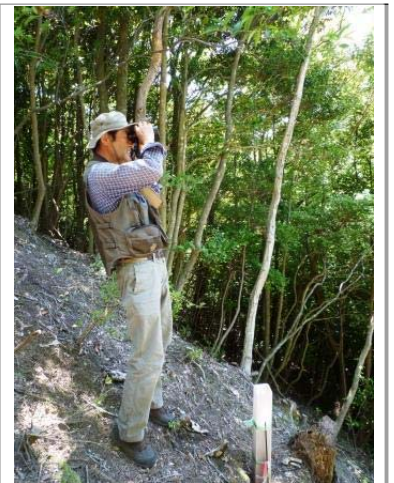
崖中腹にヤマユリー輪

○野鳥調査；皆さんが水辺清掃をしている間に、体験参加の安藤さんと一緒に野鳥調査をしました。樹木の葉が茂っているので姿は殆ど見えず、声の記録が大部分です。10時から10時45分までのルートセンサスで7種、その後の植物調査中に3種追加で、以下の10種でした。

；オシドリ、トビ、キジバト、ヒヨドリ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

県内の山野は何処でも、夏場は鳥の種類が少なく、冬の最盛期に比べると半減するのが普通です。

尚、野鳥の観察中、2度にわたってシカが逃げて行く後姿を見ました。同じシカの可能性が大です。たまたま島内に入り込んだ所へ大勢の人が来たので、逃げ惑っていたように見えました。（坂本文雄記）



禁断の岬ヒメコマツ植栽地で